

様式第 3

会 議 録

会 議 名	第 6 0 回 野田市史編さん委員会会議
議題及び議題ごとの公開又は非公開の別	1 副委員長の選出について（公開） 2 令和 6 年 1 1 月から令和 7 年 4 月までの活動状況について（公開） 3 令和 7 年度市史編さん事業計画及び予算について（公開）
日 時	令和 7 年 5 月 2 9 日（木） 午後 1 時 3 0 分から午後 2 時 3 0 分まで
場 所	市役所 2 階 中会議室 1 ・ 2
出席委員氏名	委員長 鈴木 有 委 員 飯塚ひとみ 委 員 石田 年子 委 員 糸原 清 委 員 上山 和雄 委 員 北城 昭夫 委 員 下津谷達男 委 員 柏女 弘道 委 員 山下弘太郎 委 員 染谷 篤 委 員 前田 直子
欠席委員氏名	委 員 上原 初江
事 務 局	大久保貞則（総務部長） 中山晶博（総務課長） 星野保則（総務課副主幹（兼）市史編さん担当） 中村早苗（総務課主査(兼)市史編さん担当） 宮崎 等（総務課主任主事(兼)市史編さん担当）
傍 聴 者	1 名
議 事	
第60回 野田市史編さん委員会会議の会議結果（概要）は、次のとおり。 1 委嘱書の交付 《委嘱書の交付・委員紹介》	

2 委員長(市長)挨拶

星野副主幹：野田市史編さん委員会委員長 鈴木有 野田市長より御挨拶を申し上げます。

鈴木委員長：改めまして、皆さんこんにちは。

本日は大変お忙しい中、市史編さん委員会第60回ということで御参加いただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃から皆様方に市政運営全般にわたりまして、御支援、御協力、また、深い御理解を頂いておりますことを、重ねて御礼申し上げます。

さて、御案内の通り、野田町、梅郷村、七福村、旭村の1町3村が、昭和25年5月3日に合併をし、市制が施行されて今年で75周年を迎えることができました。

市制施行当時は、野田市の人口は約39,000人、世帯数は約7,700戸と伺っておりますが、平成15年の関宿町の合併を経て現在は、人口が約153,000人、世帯数は74,000世帯と多くの人々が住まう町となりました。気になるのは、最初の合併当時は、7,700戸で39,000人、大体1世帯あたり4人から5人の家族であったということ。現在では、人口153,000人になっていますが、世帯数が10倍ということは、割ると、大体1世帯あたり2人いるかいないかというような状況。それが良いのか悪いのか非常に難しい部分がありますけれども、それだけの人が新しく住まわれていただいているということでございます。

また、75周年を迎えまして、これまでの75年を振り返り先人に感謝をしつつ、これからの100周年に向けて市民の皆様方と夢のある住みよいまち、そして、元気で明るい家庭を築けるまちの実現に向けて、頑張っていきたいと思っている次第でございます。子供からお年寄りまで、また、障がいのある方ない方含めて、皆さんが楽しめるような記念事業等も計画しているところでございます。市民参加型イベントの開催のほか、各種団体企業等では、冠事業としてこの記念事業をしていただくというふうになっております。そして、市では令和5年4月に健康スポーツ文化都市を宣言させていただいたわけですが、心身ともに健康であること、また、スポーツや文化活動を通して多くの人と関わりを持つ交流をすることによっ

て、自分を育み高める、それが人づくり、ひいてはまちづくりにつながっていけば良いなということで宣言をさせていただいたわけでございますが、郷土の歴史、また、伝統を学び、恵まれた文化や豊かな自然に誇りを持ち、まちを次世代につないでいくということを誓っているわけでございます。

郷土の歩みをまとめ上げていく市史編さん、皆さん方のお仕事は、郷土愛の醸成にもつながるものとして、この宣言の大きな支えとなる重要な事業と考えております。さらには、地域のすばらしい個性の発見にもつながり、野田市の魅力を発信する原動力のひとつになるのではないかなというふうに思っております。

毎年、小中学校全てを回って子供たちと話をしている中で、子供たちに地域のことを知ろうという話をさせていただいております。自分たちの町を好きになるには、物事を好きになるには、やはり知らないと好きにならないということですね。まず、自分が住んでいる地域のことを知ろう。その一番の近道が、地域のお祭りや地域で行っている事業、それに参加して、その地域の大人たちにこの町ではどういう歴史があるのかとか、何でやっているのかということを知る。聞くことによって興味をそそられて、それがだんだんと広がって好きにつながっていくのかな。それが地域だけではなくて、野田市全体を知るような形でいろいろな所に参加して、自分を高めてもらえれば良いなということで子供たちをお願いしています。そういった中で、この市史編さんの事業は非常に大事な仕事だと思っておりますので、これからもよろしくお願ひしたいと思ひます。本日は、議事として3件上程させていただいております。それぞれが議事運営できますことをお願ひ申し上げまして、挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願ひいたします。

3 議 事

星野副主幹：それでは次に議事に移らせていただきます。野田市史編さん委員会設置条例第6条により、委員長が議長となる旨が規定されておりますので、委員長に議長をお願いしたいと存じます。

鈴木委員長：それではしばらくの間議長を務めさせていただきますので、よろ

しくお願いいたします。早速ではございますが、議事に入らせていただきます。

本日の議題につきましては、3件でございます。

(1) 副委員長の選出について

鈴木委員長：まず、議事の1、副委員長の選任についてでございますが、市史編さん委員会設置条例では副委員長は2人で、委員の互選となっております。慣例では指名推薦で選出をさせていただいておりますがいかがでしょうか。

委員：（委員承認）

鈴木委員長：それではどなたか御指名願います。

糸原委員：はい。

鈴木委員長：糸原委員。

糸原委員：下津谷委員、それから染谷委員に、引き続き副委員長をお願いしてはいかがでしょうか。

鈴木委員長：ただいま下津谷委員と染谷委員を御推薦いただきました。他にございませんか。ないようでしたら下津谷委員と染谷委員をお願いしてもよろしいでしょうか。

委員：（委員承認）

鈴木委員長：異議なしということでございますので、下津谷委員そして染谷委員には副委員長をよろしくお願いいたします。

(2) 令和6年11月から令和7年4月までの活動状況について

鈴木委員長：次に、議事の2として令和6年11月から令和7年4月までの活動状況についての報告に入ります。事務局の説明を求めます。

星野副主幹：（資料により、以下について説明）

（1）市史編さん事業実績

（2）各専門部会別の活動状況

鈴木委員長：ただいまの報告につきまして、何か御質問や御意見等がございましたら挙手願います。

鈴木委員長：よろしいですか。それではこれは報告事項ということですので、

御了承願います。

委員：（委員承認）

（3）令和7年度事業計画及び予算について

鈴木委員長：次に、議事の3、令和7年度事業計画及び予算についてでございますが、事務局の説明を求めます。

星野副主幹：（資料により、以下について説明）

（1）令和7年度の各部会別事業計画について

（2）令和7年度市史編さん関係予算の説明

（3）その他の事業

①「野田市史研究」（第36号）の刊行について

②市史講演会の開催について

鈴木委員長：それではただいまの説明につきまして何かご質問、また、御意見ございましたら、挙手願います。

上山委員：はい。

鈴木委員長：上山委員。

上山委員：今年度の予算で、前年度よりも約200万円減少していると歳出の今年の内訳はあるのですけれども、去年と比べてどこの項目が減少したのですか。

鈴木委員長：説明願います。

星野副主幹：会計年度任用職員の報酬等が減になりましたので、その分が減になってございます。

鈴木委員長：職員の減ということでよろしいですか。

上山委員：はい。

鈴木委員長：他にございますか。ないようでしたら今年度の事業計画そして予算で事業を進めていきたいと思いますので、よろしくお願いをいたします。

鈴木委員長：それでは最後になりますが、何かございましたらお願いします。

星野副主幹：事務局からですが、お手元にチラシを置かせていただきました。

先ほども説明させていただきましたが、今年度は市制施行75周年ということで2回の野田市史講演会を開催する予定となっております。第1回は6月

21日土曜日、午後1時半から3時半まで、市役所8階の大会議室ということで、上山和雄先生に御講演を頂くことになっております。是非御参加いただければというふうに思っておりますのでよろしくお願いいたします。

以上でございます。

鈴木委員長：はい。よろしくお願いいたします。他にございますか。

それでは、以上で議事を終了しましたので、進行の方を事務局に戻したいと思います。御協力ありがとうございました。

星野副主幹：以上で市史編さん委員会会議を終了します。御協力ありがとうございました。